

## 令和3年度第1回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

### 1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

- (1) 開催日時 令和3年（2021年）6月30日（水） 午後2時30分～同4時00分
- (2) 開催場所 宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室3、4（リモート併用）
- (3) 出席者

- ・景観審議会デザイン協議部会委員  
岩井委員、中嶋委員、徳尾野委員、三谷委員、赤澤委員、前田委員、野村委員、張間委員

- ・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）  
尾崎部長、福田室長、谷口課長、下山係長、白川職員、武田職員

- ・事業者

- 議事① 事業者 阪急阪神不動産株式会社  
設計者 株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所

#### (4) 議 事

- 議事① 阪急阪神不動産 宝塚市梅野町集合住宅計画

#### (5) 傍聴者

3名

### 2. 会議の要旨

事務局： 景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっております。本日は傍聴者が3名いらっしゃいますので、ご入室いただいております。

事務局： 本日の審議会（部会）は、委員7名中7名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会 長： 了解しました。審議を開始します。  
本日の署名委員は順番により、岩井委員と野村委員です。

☆☆☆★ 阪急阪神不動産 宝塚市梅野町集合住宅計画 ★☆☆☆

会 長： 今回の事業計画で、景観上特に配慮された部分について説明してください。

事業者： 我々としても非常に大事にしているこの場所で、宝塚ホテルが移転したことを契機にこの跡地をどうするのかと言う事で考えて参りました。

まず、背景のご説明からさせていただきます。

旧宝塚ホテルは移転して、魂と共に現在の場所に持って行ったという思いです。次に、この跡地をどうするか考えるために、まず100年前のことを考えました。100年前、田園風景の中に、当時の新しい技術をもってこの洋館は誕生しました。高い建物が周囲にはまだ無い中で、堂々とした雰囲気が存在したであろうと思います。

その後、宝塚市は住宅も人口も増えて、市の発展と共に旧宝塚ホテルも沢山のご利用をいただき、増築を重ねて栄えて参りました。

当時の旧宝塚ホテルに来ていただくと、まず大きな樹木が目に入ったかと思えます。そして、エントランスを入ると中庭があり、この中庭を見ながら、別空間を楽しんでいただけるホテルになっていたと考えております。

旧宝塚ホテルが無くなって、次に何を残していくのかと考えた時、土地の記憶を継承したいという思いの中で一番重要だったのがこの樹木です。いくつかの樹木を保存、保全しようと考えております。既存樹木の中でも重要なものが2本あり、まず1本目は敷地東側に生えている樹木です。こちらは一番大きく目立つ象徴的なものでしたので、できるだけこの木を残したいと考えております。もう1本は中庭の木です。この二つが景観の中でも重要になってくると考えております。

次に、旧宝塚ホテルの建物について、歴史的にも印象的にも、できれば残してほしいという声を皆様から非常に沢山聞いております。ですから我々は、旧宝塚ホテルの記憶をどう残すかと考え、施設棟の部分でデザインを一部踏襲いたしました。

この施設棟の後ろに、新しい超高層が建ちますので、考え方としては保存、保全があり、旧宝塚ホテルの部分は再生があり、更に高層マンションの部分では新生があると言う所で、SDGsも意識しながら新しい形の高層マンションを考えています。

続いて、この高層マンションが二棟構成になった経緯のご説明をさせていただきます。最初の考え方として、敷地を14階建ての口の字で囲って真ん中に駐車場棟を考えました。しかし、この考え方では、敷地内には既存樹木も残せなくなってしまいます。

それなら今度はタワー化して足元に空間を作ろうと、一本のタワーを考えました。そうすると、既存樹木は残せますが、中庭が残せません。さらに太いタワーになるため、景観上あまり美しくはありません。

結果として、効率性は落ちますが、二棟構成にいたしました。二棟構成に

することによって引き渡し時期も分けることができ、それに伴い小学校の定員の問題も解決できます。また中庭を残すこともできるだろうというところに至りました。

ただ、容積率600%の総合設計制度を使わせていただいて作ると、足元に商業施設を入れても、なかなか旧宝塚ホテルのイメージが残せないという所がありました。そのため、一部低層部分を張り出して、上に住宅部分に乗せずにデザインをすることで、旧宝塚ホテルのイメージを残すということを考えています。私共は株式会社ですので、本来は容積率600%を取るべき所ではありますが、この場所では景観的なことも非常に重要だと考え、このような形状に至りました。

また、駅前広場というものを大きく作っております。せっかくの駅前なので、この駅前広場と中庭を、市民の方に開放し、単に見せるだけではなく、使っていただきたいと思っています。我々としては、防災面や普段の使い方、イベントなどにおいても市民の方々と共に使っていくような施策を市と相談して、人が使う場所としての景観を造っていきたいと考えております。

会 長： ありがとうございます。様々な面から景観を議論しなければいけません。タワーマンションとしての景観、それから施設棟などの低層部分の景観、駅前広場や道路に面した外構計画の景観、というように分けて議論していきたいと思えます。

まずタワーマンションとしての景観デザインについて委員の方からご意見ご質問あればお願い致します。

委 員： 1つご質問です。資料の中で、高層棟の隅部分の材料の見本が見つからないのですが、どこにありますか。

設計者： この部分は検討中のため、見本が示せていない状況です。イメージといたしましては、高層棟の第二外壁を少し濃くしたもので、濃さの具合は検討中です。このタワーマンションを遠方から見た際、極力細く見せるために、コーナー部分を濃い目の外壁色とすることで、引き締まったデザインとし、圧迫感を消したいと考えているところです。色としては、高層棟の第二外壁を一段階か二段階濃くしたものになる予定です。

委 員： 濃いというのは明度で濃くなるのですか、彩度で濃くなるのですか。

設計者： 明度も彩度もお互いリンクしあうものですが、考え方としては、色相は同

じにし、彩度を落としていこうかと考えております。

委員： 分かりました。もう一つ教えていただきたいのですが、住宅棟の低層部はアルミサッシで2PB2/4、非常に濃い濃紺ですが、これは発色で出すのですか。

設計者： 発色で出そうと考えております。低層部のサッシの色は非常に悩んだ結果、濃い青、ほぼ黒に近い色を設定しております。施設棟は旧宝塚ホテルのサッシイメージを継承するために、基本的に白のサッシにしているのですが、それとはあえて違う色にした方が映えるのではないかと考えました。

委員： この色自体は嫌な色ではないのですが、アルミで発色させるとギラつきませんか。今回の計画では、丁寧に部材を決めていただいているという印象なのですが、このアルミ発色だけが気になります。

設計者： 極力テカリを抑え、マット調に仕上げたいと考えております。また、本来ならばスチールを使用したいのですが、集合住宅という用途上、メンテナンスフリーが求められるため、どうしても昔のようにスチールでは難しいです。

委員： 商業施設に来られるお客さんは、どこへ駐車するのでしょうか。

事業者： 車で来られた方は、現在ある北側のホテルの駐車場の一部を使用する予定になっています。

委員： 今回の敷地の中には駐車しないという事ですか。

事業者： 今回の敷地の中に一般の方の車が停まるのかは、今後のテナントの構成によるところですが、メインは北側の敷地外に設ける予定にしております。

委員： もう一つ気になるのは、北棟のゴミ置き場です。このゴミ置き場は敷地の一番端にありますが、敷地の隣地はどのようになっていますか。

事業者： 隣地には住宅があります。

委員： 隣地の方には、計画内容について理解はいただいていますか。

事業者： 今回の計画について、隣地の方とは個別でもお話をしております。

会長： マンション部分について他にご意見ございますか。無いようですので、駅前広場と商業施設についての議論に移りたいと思います。

委員： 景観的には非常によく配慮された計画だと私は思います。既存の樹木が活きているのがとても良いと思います。それから、旧宝塚ホテルの面影を持つ低層棟と中庭がいいですね。大変好感が持てます。

このまちにとって大きな課題であった駅から西側への人の流れが、今回の計画で整理されるので、その部分については事業者と行政で一体となって取り組んでいただきたいと思います。

私が大きな魅力を感じているのは、高層棟の間を抜ける通路がある点です。現状でも、駅から西の方へ行く人の流れは割合多いです。

今回の計画では、この通路に面する部分に、店舗の出入口等もなく、自転車置き場があるような状況です。この通路は、表の通りよりも人通りが多くなると思いますので、通路に面する部分の計画を見直していただけないでしょうか。例えば、南棟の北西角に自転車置き場がありますが、この部分を店舗にさせていただくことはできませんか。この計画が持っているポテンシャルとして、この通路に面する部分をどのように魅力的にしていくかという事を是非考えていただければと思います。

そういう視点でみていくと、この中庭が気になってきます。中庭というと、私は、周りを店舗で囲んでいるものをイメージします。中庭が、コの字でもL字でもいいので、ちょっとした店舗で囲われて、本当に中庭らしいものになっていけば、昔のホテルの面影がものすごく残ります。バーなどを傍に付ければ、まさにそんな空間になります。是非、お互いにこの通路部分を大事に計画していきませんかという思いです。

あとは、道路と駅前広場との一体化がどのように進められるかと言う事です。この辺りは街路樹や景観プロムナードの街路灯など、色々なことがありますが、観光プロムナードの床仕上げは概ね統一されていますので、床の仕上げがどのように繋がっていくかと言う事は設計者にとって非常に気になることだと思います。

道路については、どこが所管になるのでしょうか。行政と民間で、一緒に計画していくべきだと思います。

それから、低層部分の意匠についてです。同じような色味で連続性があり、用途としても店舗を計画されているのに、施設棟と住棟の低層部分のデザインが全く違うことが非常に気になります。次回の審議の際に、ぜひこの低層

部分のデザインをどのように繋げていけるか考えていただけたらいいと思います。北棟の方の店舗の大きい面積の所は少し床面積を小さくして、中庭から見て少しブレイクダウンしていき、それが南棟の足元へも繋がっていくと考えられれば良いと思います。

長くなりましたが、とても良く出来ているので、持っている良さを伸ばしていくような審議が出来れば良いなと思います。

会長： ありがとうございます。二棟の間の通路部分というのは、市民の方の通り道になる可能性もあります。店舗の構成等についてさらに検討していただき、より活きた空間になると良いと思います。

委員： まず、中庭を残していただくのは素晴らしいと思うのですが、できれば中庭的な空間として、囲われた空間にしていきたいと思います。

また、旧宝塚ホテルの再現をされている部分が高層部分に接しすぎていると思います。公開空地の関係もあるかと思うのですが、もう少し高層部分から離すことによって、その後ろに中庭のような路地のような空間がさらに出来ますし、再現部分は独立して計画する方が綺麗に見えます。

少し条件が違うところもあるかと思いますが、イメージとしては、丸の内の三菱の1号館の再生です。通りに面して、かつての1号館を再現しており、中が小道になっていてサラリーマンや住民の方にとって非常に良い憩いの場になっています。

今回の計画地は、宝塚市における一等地なので、皆さんの心地いい場所があれば楽しんでいただけるでしょうし、店舗も賑わうであろうと思います。この旧宝塚ホテルの再現をもう少し前へ出すと、同時に中庭的な空間ができて、せっかく残していただく中庭が生きてくるのではないかと思います。

それに関して、南棟は通路部分に面して自転車置き場などを計画されていますが、通路に面して店舗を計画できませんか。また、南棟東側の店舗も、中庭側に配置を変更することはできませんか。この通路の両側に店舗があるような空間にし、緑も豊かにしていただいて、イメージとしては三菱1号館の中庭のような雰囲気の場合は、とても素敵だろうと思います。

公開空地の関係で再現される建物の配置が決まるのかもしれませんが、ご検討いただければと思います。

委員： 歴史的な建物は、新しい建物にあまり近接させない方が綺麗に見えます。例えば、復元した建物の後ろに綺麗な株立ちの高木を計画して、その後ろに高層棟があるのでしたら、空間的な広がりが出ると思います。

木を植えると日陰にもなるので、憩いの場になると思いますし、店舗にも子連れでやってきて、お子さんを遊ばせることもできます。広すぎず、少し隠れた空間になるので、憩いの場としてはとても良いと思います。

事業者： ありがとうございます。これまでのご意見について少し回答させていただいてもよろしいでしょうか。

会長： お願い致します。

事業者： 中庭をどのように活かすのか、通路をどう活かすのか、中庭をもう少し中庭化できないかと言うお話をいただき、ありがとうございます。

我々も中庭をどうするかと言う事を当初考えました。

容積率さえクリアできるのであれば、三菱1号館のようにさせていただきたいです。先生方と、思いは同じだと感じています。今後の改善に向けて、やれる中で頑張っていきたいと思います。

自転車置き場のお話については、どこをバックヤードにしていくかという事と公開空地の関係で、今回の配置になっています。ただ、南棟の自転車置き場は現在検討段階ですので、今後検討していきたいと考えております。

どのようにすればこの中庭、通路部分を楽しい空間にできるかという事について、設計者と共に今後デザインを考えたいと改めて感じました。

次に中庭の活かし方について検討して計画したことについて、ご説明をさせていただきたいと思います。

図面上で外部回廊と記載しているところがございます。これは、旧宝塚ホテルの中庭に面して回廊があったことを活かしたいと思い、店舗の面積から外した外部回廊を計画しているものです。

デザイン面については、解体前の旧宝塚ホテルにはガラスが入っていましたが、歴史を紐解くと、創建当初は外部化されている回廊だったと言う事が分かりました。その創建当初のイメージに近づけたいと思っています。

ご指摘の通り、この中庭を中庭らしくするためにはどうするかと言う事はまさに考えていかなければいけないことです。ご意見をいただきありがとうございます。

会長： 他にご意見はありませんか。

委員： 非常に広い駅前広場ですので、例えば災害時の避難広場やイベントなど様々なことに利用できるだろうと思います。

今まで駅前に広場が無かったので、市役所前の広場でイベントなどをしていましたが、こうして駅前に広場ができると、おそらくもっとここを使おうという動きが出てくると思います。そうすると、化粧列柱は利用上邪魔になりませんか。構造物のない広々とした広場の方が使い勝手がいいと思いますし、何か構造物を設置するというのであれば、災害時に利用できるもの等がいいのではないかと思います。

建築物については、旧宝塚ホテルの面影を残していただいていますので、広場は、新しくこれからへ向かうような在り方でもいいのではないかと思います。資料に記載のある「次世代に向けた新たなまちの起点を創造する」というコンセプトが、広場から感じられればいいなと思います。

事業者： ありがとうございます。広場をどう使えるようにするかという視点と、旧宝塚ホテルの面影をどう残すかという視点の両輪だと考えています。

まだ検討段階ですが、この広場を防災拠点として使用しませんかという提案を市にしています。もし市と協定が結べれば、マンホールトイレを開放する、災害時には広場を拠点として使っていただく等が可能かと思います。

また、災害時だけでなく、普段の利用については、例えばイベントとして広場に車で乗り入れて持ち帰りのカフェをするようなことも検討しています。

そうすると、給排水を用意する等の設計も必要になりますし、市と一緒に考えていきたい、とご相談をしている最中です。地元の方々とも様々な相談をしている中で、賛同のお声もいただいております。

できれば協定等を結びながら法規制を突破し、是非実現したいと思いますので、そのあたりは景観審議会の皆様のお力もいただければありがたいと思っております。

会長： ありがとうございます。せっかくの広場ですので、デザインの方も、単に旧宝塚ホテルの外郭を囲うということだけではなくて、利用法も含めて考えていけると非常に良いと思います。他にご意見はございますか。

委員： オープンスペースのデザインをするという視点で今回の計画をみたときに、建物と広場の軸線がずれていることに少し違和感があります。

例えば、跡地の軸線に合わせて、広場や建物の配置を計画するのはどうでしょうか。そうすると、通路部分についても、自然に斜めに抜けていくと思います。

それに伴って、植栽の変更も検討してみてもいいかと思います。今回の計画では、敷地東側の駅から見える正面のあたりに、クスノキ、シマトネリコ



を植えられています。これらは非常に成長が早く、あっという間に大木になります。これでは、駅から見ると春から冬までずっと緑で、建物は影に隠れてしまいます。緑量があるのはいいことですが、せっかくの建築物のデザインが弱くなってしまいます。

中庭については、建築的な考え方では、中庭は「建物で囲う」のが一番王道かもしれませんが、「植栽で囲む」のもいいと思います。既存のクスノキがちょうど中庭を囲むような配置ですので、それを生かしてクスノキのような常緑樹で中庭を囲み、中庭の中には、植えるとしても落葉樹がいいかと思えます。落葉樹にすると、冬に日差しが入りますし、少しメリハリもつきます。

また、配置図にある通路部分のクスノキについては、なくてもいいかと思えません。視線が抜けるようにして、すっきりとしたデザインにするという案もあるかと思えます。

事業者： まず軸線について、旧宝塚ホテルにあった軸線を生かすかどうかについてはこれまでも設計者と議論してまいりました。

旧宝塚ホテルの軸線のまま計画し、中庭の保存と共に同じ軸線にできないかと検討させていただきました。しかし、旧宝塚ホテルの軸線と同じように住棟を配置すると、敷地形状との兼ね合いで、公開空地にならないところが増えてしまいます。そうすると、容積を確保するためには、旧宝塚ホテルの再現部分を薄くせざるを得なくなってしまいます。総合的に判断し、今回計画している配置となりました。

その上で、地元の方々とも協議しながら、旧宝塚ホテルの面影を残すために、この軸線を生かせないか検討中です。

植栽等をどのように考えるかと言う事はご指摘の通りだと改めて感じました。落葉樹については、現況でも近隣の方から「落ち葉が多い」というご意見も頂いています。樹木の樹種、大きさや、メリハリをどうつけるかという事は、設計者と考えたいと思います。

設計者： 設計者より補足させていただきます。軸線に関してですが、施設棟を旧宝塚ホテルの軸線に合わせようと検討もしたのですが、あくまでも今回計画するのは新しい建物であるという事で、新しい建物の軸線と古い軸線は分けるべきではないかという議論をしました。結果的に、今回は住棟二棟も含めて、「新しい建物は新しい軸線」、「中庭と旧宝塚ホテル跡地の輪郭は古い軸線」と二つを明確にする、という考えで角度を振った形になっています。

微妙な6度くらいのズレなので、外構計画をするのにも違和感があります。これはおそらく実際現地に立ってみると気にならない程度かとは思うのです

が、設計者として、図面上では非常に気にはなりません。しかし考え方としては極力分けておきたいという思いで、今回の計画をしています。

植栽につきましては、ご指摘の通り、現状の計画では落葉樹と常緑樹の区別という点で、メリハリがない部分もあるかとは思いますが。落葉樹は、冬は落葉し、そこがぽっかりと空いて日当たりも良く、気持ちがいい部分もありますので、検討していきたいと思えます。

また、先ほどからご指摘いただいている中庭につきましては、本来は中庭は建物で囲って別世界にしたいのですが、これが出来ていません。

建物で囲う事が出来ないなら、緑で囲って、新しい解釈の中庭にできないかということで、意図的に周りを木で囲っています。古い樹木は立派ですし、これを象徴的に使うのは大事だと思いますが、100年後には、古い樹木も新しい樹木も一体化していくのも面白いのではという考えもあり、充分すぎるほどの樹木を計画しております。生育後のことも考え、もう少し詳細を詰めて、現実的なプランに落とししていく必要があるとは思っています。

会 長： ありがとうございます。クスノキでクスノキを囲む、という代わりに、お勧めの樹種などありましたらお願い致します。

委 員： 壁になるような囲みかたというのは、オープンスペースとしてはあまりよくないので、下がすっきりと空いて上に扇形に広がっていく落葉樹が一番いいと思います。樹種としては、よく使われる樹種ですので、特別感がないかもしれませんが、典型的なものとしてはケヤキが挙げられます。

また、計画されているシマトネリコは、あまりお勧めできません。シマトネリコは成長が早く、手が付けられないくらい大きくなってしまいますので、やめておいた方が賢明だと思います。

それから、軸線についてですが、オープンスペースのデザインとしては、外構計画を建物と直角に計画する必要性は全くありません。全て斜めにずれていても、訪れる人にとっては違和感はないはずです。

会 長： ありがとうございます。他にございますか。

委 員： 先ほどのお話だと、中庭を囲うのを諦めるような流れになっているように聞こえるのですが、色々なやり方があると思います。例えば、東側立面図の足元の所にアーチで並んでいる壁のようなものがあるだけでも、中庭になりますし、店舗の出し方にはコの字型もL字型もI字型もあります。少しでも店舗が出てきて、その他を壁などで囲って欲しいです。植栽で囲うよりも、

やはり建物で囲って、中庭を造って欲しいです。その中庭が、先ほどの外部回廊と一体になると素晴らしいと思うので、何とか知恵を絞って昔の中庭がイメージできるような設計にして欲しいと思います。

また、拡幅される道路の断面や植栽、街灯、仕上げなどはいつどこで検討されるのでしょうか。市と事業者お互いが協力して、一体の空間を一緒につくっていくべきだと思います。次回の審議で道路の整備も含めて資料を提示していただくことは可能でしょうか。

事務局： 道路の拡幅整備については、只今協議中という段階ですので、次回の審議までに資料の提示は難しいと思います。

事業者： 今回の開発事業の完成にはまだ3～4年かかりますので、それに合わせてどのように道路の整備をするかについては、現在協議中です。最終的には床仕上げ等も市と一緒に検討していけると認識しております。現在の協議の中では、一旦クスノキの根を囲って切って、敷地内に公開空地ができるのでその下に根が行くようにして、土を入れて上を舗装仕上げします。同じく道路側についても、敷地内と同じような仕上げにしませんかと道路担当部局と協議を進めている段階です。

会長： 景観審議会としては、市も、事業者と一体となって検討し、仕上げ等に配慮すべきであると思います。

委員： 景観とは直接関係ないですが、少しお伺いしたいことがあります。  
高層棟が二棟建つと言う事ですが、棟の間の一番狭いところは、グランドレベルでは正確にはどのくらいの距離がありますか。

設計者： 通路部分は物理的には5～6mあるかと思いますが、住棟2棟は免震化しており、足元にクリアランスを設けていますので、実際に人が通れる部分は3m程度かと思いますが。路地として楽しんでいただければと思います。

委員： ビル風については大丈夫ですか。

設計者： ビル風のシミュレーションも行っています。高層棟は二棟ですが、北棟の足元が、ちょうど施設棟又は保育所部分の低層部分で階段状になっております。北棟の上からの風はそこである程度止められており、隙間の風は大きくないと確認しています。どちらかと言いますと、ビル風は南棟の東側、駅と

南棟との間が、現状よりも多少増えるという結果が出ています。既存の樹木は大樹で、風に対して非常に効果的ですので、この木を残した上で、さらに東側に木を何本か植えたいと考えております。

委員： 六甲山系から降りてくる、武庫山の方からの風も大丈夫ですか。

設計者： 基本的に地域風に基づいたシミュレーションを行っておりますので、当然北側や西側の山から下りてくる風も、周辺の建物も加味してシミュレーションしております。あくまでも机上計算ですが、日本総合建築試験所で検討していただいたところ、現段階では大きな変化はありませんでした。

委員： 今回、旧宝塚ホテルの一番印象的な部分であるクスノキを残していただけるということを非常に嬉しく思います。タワーマンションという都会的な建物と宝塚の伝統的な建物がマッチすれば、本当に素晴らしいものができるだろうなと感じています。旧宝塚ホテルに行ったときには、中庭に噴水や滝のようなものがあるのがガラス越しに見えてすごく癒される場所でしたので、是非再現いただけると嬉しいです。

委員： 今回の計画では、この広場や公園をいかに地元の為にするか考えられているのが非常に良いと思います。

この旧宝塚ホテル跡地についても、地元の意見を反映し、将来の手本になるような素晴らしいものにしていただきたいと思います。

会長： ありがとうございます。駅前広場以外にも、裏の管理公園や細街路の接道部分も景観としては重要かと思いますが、ご意見等ございませんか。

委員： 旧宝塚ホテルは、県の景観形成重要建造物にも指定されているものです。

新しく造られるものも、新たに景観形成重要建造物の指定がされるくらいのものにしていただけたらと思います。

また、計画地周辺には、高層の建物もいくつかあると思いますので、例えば1kmほど離れたところの視点場から実際の写真に落とし込んでいただいて、背景の山並みとの調和など、遠景から見ても調和していると言う所が確認できればと思います。

会長： 近景の話ばかりでしたが、遠景の話もありますので、宝塚大橋の向こう側等、いくつか市にとって重要なポイントから他のタワーマンションと並べて

どのように見えるかと言う事も確認していただきたいと思います。

委員： 植栽計画について、敷地東側と西側のシラカシですが、シラカシは楕円形の樹形になるもので、良くも悪くも何の特徴もない樹種です。せっかくこのような良いデザインの建築物ができるので、カツラなどの細長く縦に伸びる樹木を植えると良いと思います。自主管理公園のあたりにもそのような樹種を一本植えると良いです。

また、敷地南側に計画されているハナミズキについてですが、ハナミズキはボリュームがあまり出ないので、ヤマザクラ等の季節によって花も楽しめる、ボリュームのある樹種が良いと思います。

設計者： ありがとうございます。参考にさせていただきます。

委員： この植栽計画を見ていると非常に花木が少なく、季節感がないと感じます。今回のような大規模な高層住宅ではあまり花木は植えないのでしょうか。

委員： そもそも大きくなる花木が少ないので、一般的にはあまり植えられていないかとは思いますが、花木を植えること自体はいいと思います。例えばヤマザクラなどは良いと思います。大きな建物ですから、高木の樹木を植えて、下の方で低木を植えて彩をつくるという事はよくあるパターンです。

委員： モクレンやライラックのような、ある程度の高さがあつて花が咲く樹木はどうでしょうか。

委員： 下にも上にも花があるのは少しうるさくなってしまうかと思いますが、高木で形を造って、その下に低木を数種類混ぜて植えると、宝塚らしきが出るかもしれません。

設計者： ありがとうございます。本日の議論を受けて、今後詳細を決定していきたいと思います。

会長： 他にはございませんか。それでは私の方から一点、景観には関係ないかもしれませんが、既存建物がホテルでしたので、例えばシャンデリアのような照明器具や、テーブルやイスのようにシンボリックなものが置いてあったと思います。そういったものが商業施設で活かされたり、建具が新しい建物に

転用されたり、そういったことはありますか。

事業者： 旧宝塚ホテルのシャンデリアや家具の一部を保存しており、活用できるものは活用していきたいと考えています。また、一部樹木を伐採せざるを得なかったものに対しても、デザインのどこかで再利用したいと考えております。歴史をどのように再現するかと言う事と、SDGsの観点を併せ、保存と再生と最新を合わせていくことをテーマにやっておりますので、我々自身も楽しみにしながら皆さんにも待っていただきたいと考えております。市民の皆様にも価値を感じていただいて住んでいただく、商業施設に来ていただく、広場を使っていただくと言う事に繋がりたいと思います。ありがとうございました。

会長： 冒頭に申しました通り、本日は意見書としてまとめるものはございませんので、本日出た意見を活かして検討していただいて次回のデザイン協議部会で改めて議論させていただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

本日の協議はこれで終了とします。ありがとうございました。